

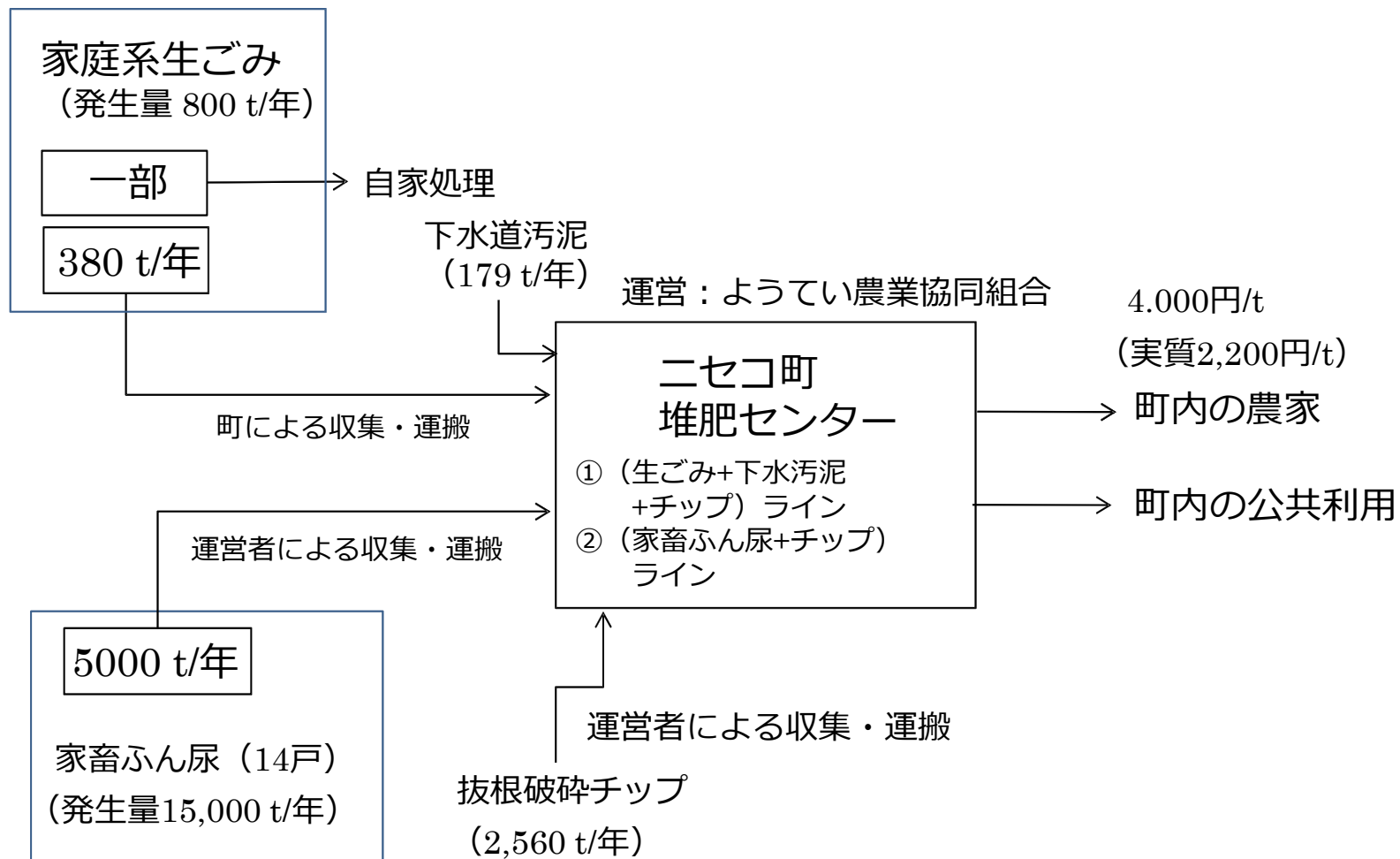
給気ポンプ類



ニセコ町堆肥センター

項目	内容
施設名（システム名称）	ニセコ町堆肥センター（厨芥等一体高度処理施設）
所在地※	北海道虻田郡ニセコ町字豊里2番1
事業主体※	施設管理者：ニセコ町 施設運営者：ようてい農業協同組合 （施設運営管理委託契約に基づく管理運営）
事業範囲※	酪農家庭先（堆肥舎）からのふん尿の運搬から、堆肥生産、製品堆肥の搬送まで
開始年度	平成14年12月
インプット※ （受入バイオマスの種類と量）	生ごみ（3.89 t/日、水分90.0%） 畜ふん（21.53 t/日、水分81.9%） 下水道汚泥（1.29 t/日、水分84.0%） 抜根破碎チップ（7.03 t/日、水分20.0%）
処理・リサイクル方式※	堆肥化（自動ロータリ式攪拌機による）
アウトプットと利用先※	堆肥（20.5 t/日、水分62.6%） 農家、公共使用
補助事業名（交付団体）	平成13年度畜産環境整備特別整備対策事業（農産省）平成14年度北海道食料・環境基盤緊急確立対策事業適用

ニセコ町堆肥センターのシステムフロー

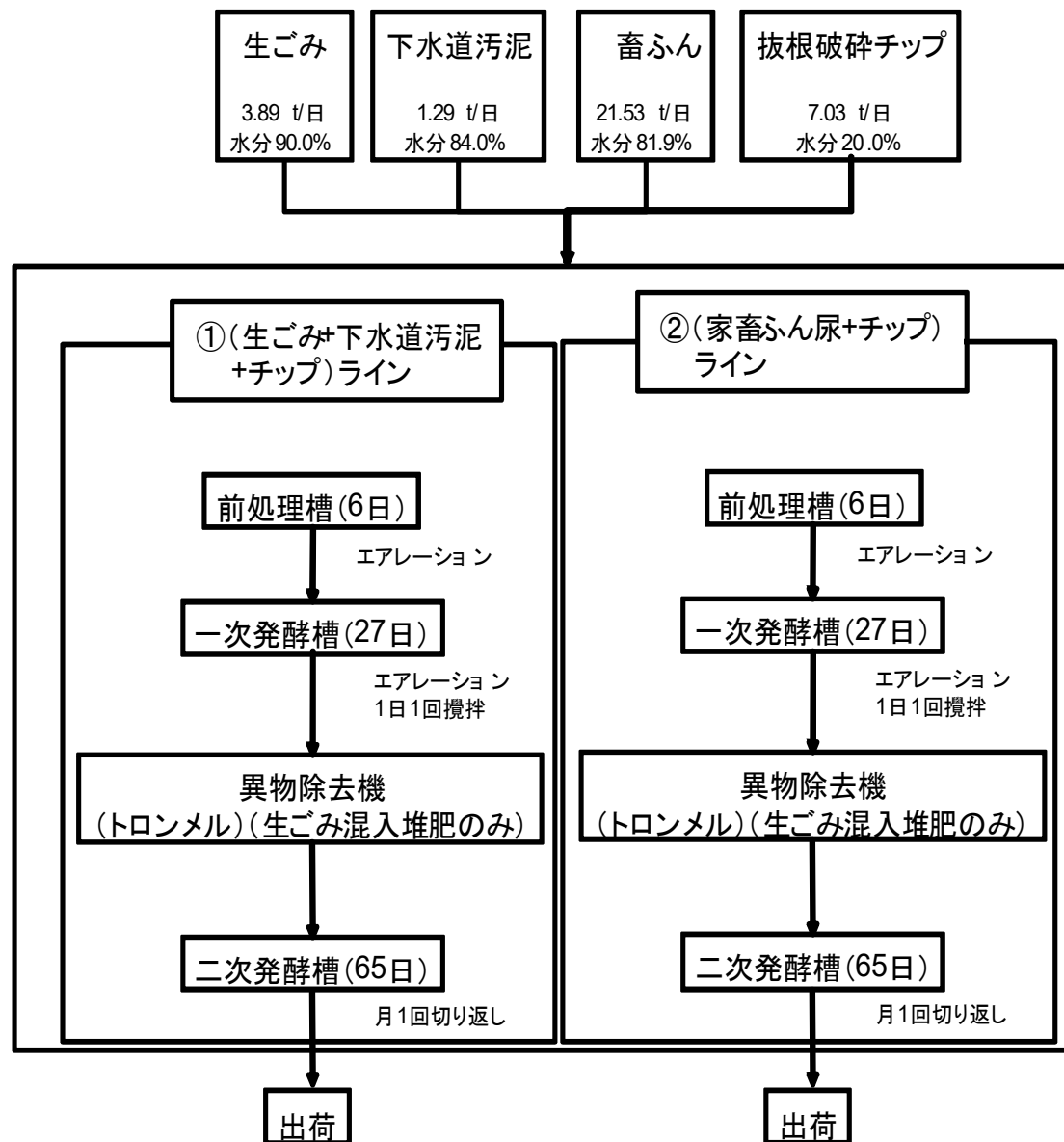


ニセコ町堆肥センターの堆肥製造プロセスフロー

・ 畜ふん+抜根破碎チップ、生ごみ+下水道汚泥+抜根破碎チップの2ライン（畜ふん堆肥を利用する農家の声を反映）

・ 一次醗酵槽での速やかに温度が上昇し、効率的な発酵を促進するために、6日間、前処理槽にて、エアレーションを行っている。これは、原料と水分調整剤を均一に混合し、一次発酵に適した含水率にまで調整することを目的としている。

・ 冬期間は搬入される畜ふんは、凍結している場合が多く、6日間前処理槽にて保管することで、溶けて安定した状態になり、発酵をスムーズに促進することが可能となる。



ニセコ町堆肥センター

